

## 瀬波地域のまちづくり方針を文書で審議

### ～令和2年度協議会通常総会～



(パートナー)のロゴマーク  
市民協働のまちづくり

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、瀬波まちづくり推進協議会の「令和2年度通常総会」が文書決議で行われました。4月上旬に各町内(集落)及び瀬波地区の各種団体から選出された代議員に対して、議案書と文書表決書をお送りし、今年で設立から9年目となる協議会から提出された議案について審議していただきました。その結果、全ての議案が承認・議決されました。

#### 【令和2年度通常総会で承認・議決された議案】

##### ●第1号議案 2019年度事業報告

事業分野	主な事業
ふれあい交流分野	瀬波地区青少年健全育成会事業、瀬波盆踊り大会(8月16日(金)雨天のため中止 開催主催:瀬波を考える会)、せなみスポーツ玉入れ大会(6月30日(日)開催)、ふれあいフェスタINせなみ(瀬波地区文化祭)(10月20日(日)開催)、「昔の遊び」(12月1日(日)開催)
安心安全分野	S-CAT活動(瀬波小児童との顔合わせ会、4月11日(木)開催)、S-CAT(瀬波こどもふれあい隊)とまち協あんしん安全部会合同研修会(令和2年2月2日(日)開催)
健康福祉分野	「おさかな教室」(6月29日(土)開催、主催:食推)、健康講演会(7月11日(木)開催、主催:太陽の会)、笑える講演会(11月22日(金)開催)
環境衛生分野	海岸清掃(瀬波小校外授業と同時開催、雨天のため中止)
歴史・伝統文化分野	瀬波北前船研究会と合同で日和山と呼ばれる小高い丘に登るための階段設置
広報通信分野	「まちづくり通信」定期号発行、ホームページ運用
その他	町内(集落)支援助成金制度、瀬波まちづくり推進事業

##### ●第2号議案 2019年度収支決算

収支	項目	金額(単位:円)	概要
収入	交付金	4,846,000	村上市地域まちづくり交付金
	繰越金	572,258	平成30年度繰越金
	諸収入	9,511	預金利子等
	合計	5,427,769	
支出	組織運営費	1,204,496	会議費、報償費ほか
	ふれあい交流費	550,000	瀬波地区文化祭助成金ほか
	安心安全費	31,062	S-CAT 隊員への郵送料ほか
	健康福祉費	60,000	健康応援サークル太陽の会ほか
	環境衛生費	3,369	瀬波海岸環境整備事業
	歴史・伝統文化費	10,000	錨保存建屋周辺整備費
	広報事業費	574,485	瀬波地域まちづくり通信発行ほか
	町内(集落)支援助成金	1,675,000	地域交流支援助成金ほか
	瀬波まちづくり推進事業費	290,000	まちづくり推進事業ほか
	各部会及びプロジェクト事業対策費	199,983	各部会及びプロジェクト事業対策費
	アンケート調査分析委託料	0	瀬波地区全世帯にアンケート調査を行い、その分析を委託するための予算。
	積立金	0	
合計	4,598,395		

※差引残高 829,374 円は令和2年度へ繰り越し

●第5号議案 令和2年度事業計画

事業分野	主な事業
ふれあい交流分野	瀬波地区青少年健全育成会事業、せなみスポーツ玉入れ大会(中止の可能性大)、むかしながらの遊びを取り入れた事業、瀬波盆踊り大会(瀬波を考える主催)、ふれあいフェスタ IN せなみ(瀬波地区文化祭)
安心安全分野	S-CAT 活動(瀬波小児童との顔合わせ会)、救急法講習会、ふれあいフェスタ IN せなみ(瀬波地区文化祭)で段ボールベットなど避難所で使う用品の展示、村上市防災士会と連携しての防災シンポジウムの開催
健康福祉分野	健康講演会(主催:太陽の会)、瀬波地区食生活改善推進委員協議会支援事業 村上市介護高齢課主催「村上地区地域ケア会議」への参加、笑いながらためのなる講演会の開催
環境衛生分野	海岸清掃(瀬波小校外授業と同時開催)(今年度は中止)
歴史・伝統文化分野	冊子「瀬波っていいね」で紹介された史跡の説明看板を複数年にわたって作成・設置。令和2年度は下渡、羽下ヶ淵、滝の前、大平、浜新田、瀬波温泉、松山、三面にある神社及び石碑計9か所に設置予定。
広報通信分野	「まちづくり通信」定期号発行、ホームページ運用
その他	町内(集落)支援助成金制度、瀬波まちづくり推進事業 各部会及びプロジェクトチーム事業対策費 ※今年度はプロジェクトチームで行うものとして婚活事業を行う。

●第6号議案 令和2年度収支予算

収支	項目	金額(単位:円)	概要
収入	交付金	4,861,000	村上市地域まちづくり交付金
	繰入金	0	
	繰越金	829,374	2019年度繰越金
	諸収入	2,626	預金利子等、書籍販売代金
	合計	5,693,000	
支出	組織運営費	1,292,000	会議費、報償費ほか
	ふれあい交流費	500,000	瀬波地区文化祭助成金ほか
	安心安全費	50,000	S-CAT 活動費
	健康福祉費	60,000	健康応援サークル太陽の会ほか
	環境衛生費	10,000	瀬波海岸環境整備事業
	歴史・伝統文化費	10,000	建屋周辺環境整備費他
	広報事業費	646,000	瀬波地域まちづくり通信発行ほか
	町内(集落)支援助成金	1,740,000	地域交流支援事業ほか
	瀬波まちづくり推進事業費	450,000	瀬波まちづくり推進事業ほか
	各部会及びプロジェクト事業対策費	860,000	各部会及びプロジェクト事業対策費
	積立金	0	
	予備費	75,000	
	合計	5,693,000	

●第3号議案 規約改正について

※協議会の委員及び代議員を選出してもらおう瀬波地域の各種団体から「さくら会」を削除。

※瀬波地域コミュニティセンター再開のお知らせ

5月11日(月)から平日午前9時から午後5時まで貸館業務を再開しました。利用にあたっては、村上市民のみの利用とし、「マスク着用」「利用者名簿の記入」「近距離での会話を控える・密集を避ける」「使用後の用具等の消毒作業」「定期的な換気(1~2時間ごと)」「風邪の症状や熱のある人の利用自粛」をお願いします。なお、瀬波体育館及び平日夜間・土日の瀬波児童館の使用については当面の間利用休止とさせていただきます。

# 第4号議案 第3次瀬波地域まちづくり計画について(抜粋)

## 第3次 瀬波地域まちづくり計画 (2020年度(令和2年度)～2024年度(令和6年度))



### 1. はじめに

第1次村上市総合計画では、村上市の目指すまちの将来像を「元気なまち村上市」とし、「任んでいまち」「訪ねていまち」などの意味を含めました。第2次村上市総合計画では、第1次村上市総合計画で掲げるまちの将来像を引き継ぎつつ、さらに市民の幸せが広がるまちを目指して、「やさしさと輝きに満ちた 笑顔のまち村上市」をまちの将来像としています。

また、第2次村上市総合計画においては、『育む』、『創る』、『広げる』の3つの言葉を基本理念として、『笑顔のまち村上市』の実現を目指すために「いきいき元気な笑顔輝く、支え合いのまちづくり」、「ひとと、まち、自然が調和する、美しい定住のまちづくり」、「産業が創る地域の誇り、活力みなぎる賑わいのまちづくり」、「いのちと故郷を絆で守る、安全安心なまちづくり」、「伝統と文化を育む、すこやか郷土のまちづくり」、「ひとりひとりが活躍する、市民が主役のまちづくり」の6つの目標を設定しました。その目標の一つの「ひとりひとりが活躍する。市民が主役のまちづくり」ということで、市民がまちづくりに参加する機会と機運の向上を図るとともに、行政の能力を高め市民が活躍できる街を目指すために、市民(団体、企業等を含む)・行政がともに歩む取組んで、この推進母体として平成33年度に市内17のまちづくり協議会が設立され活動しています。

そのなかの一つが「元気あふれる街瀬波まちづくり推進協議会(以下「協議会」という。)」です。協議会は平成24年2月に設立し、瀬波地域(瀬波小学校区)で活動しています。その活動指針である「第2次瀬波地域まちづくり計画」の目標年次が平成31年度であることから、これまでの活動の成果と課題を精査し、「第3次瀬波地域まちづくり計画」を策定します。

### 4. 瀬波地区の現状と課題

#### 現状と課題

瀬波地区は、海、山、川の自然や温泉などの地域資源に恵まれた地域です。江戸時代には北前船の寄港地として大いに栄えた歴史もあり、勇壮な瀬波大祭や多伎神社など古くからの神社仏閣、地藏様、左義長や百万遍、瀬波温泉潮太鼓など伝統文化が守られています。

また半世紀続いている瀬波地区青少年健全育成会では、「親子オリエンテーリング大会」、「母子キックベース大会」、「瀬波地区一周駅伝大会」、「百人一首かるた大会」が継続して行われており、地域の子もたちを住民が一体となって育成する活動が盛んに行われています。

一方で、少子高齢化の問題や若者の流出についてはこの地区においても課題になっています。また、豊かな自然環境が存在する一方で自然景観が損なわれているという問題もあります。また、町内・集落によっては住民同士のつながりが希薄になっており、瀬波に対する想いや、歴史や伝統文化への意識に格差が生じています。

### 5. 協議会の成果と課題

瀬波地区では平成24年2月に協議会が設立され、平成27年4月からは組織改革により4つの専門部会を作り、様々な地区の活性化や課題解決に向けた取組みについて市民協働により進めてきました。また、令和元年6月に地区の全世帯対象にアンケート調査を行いました。その結果・・・

関心事について	ア 瀬波地区で関心あることで、回答の多い順に人口減少、公共交通の便、地域のつながり、環境問題、地域行事、伝統行事の存続であった。 イ 回答者とその家族に関することで関心があることは、回答の多い順に、健康、介護、食事、子育て、料理、スポーツ、就職、婚活(結婚)であった。
瀬波まちづくり推進協議会活動や事業について	ア アンケート調査に回答した世帯のうち、まち協の活動について、よく知っているもしくはまあまあ知っているを合わせると約6割が知っている状況である。 イ しかし、活動内容については、毎年ほとんど変化がなく本格的な見直しが必要と思われる。 ロ 動きの見えるイベントなどのインパクトが必要。 ハ 一般の人には活動が理解されていない。 ニ 地区全体の活動の様子(報告)が見えない。 ホ まちづくり協議会そのものの認知度が低いのは、といった意見がある一方、活動が浸透するまでこれまでの活動を続けてはどうか、これ以上新たな事業は必要ないのではないか、各分野でそれぞれ頑張っている事をもっと強くアピールしたほうが良いのではないかといった意見もあった。また、「若者の声を大切に活動に入れてほしい」や「若者や女性の参加に期待する」、それに「役員に若い人を採用すべき」といった意見もあった。 ウ 20代にアンケートを行ったところ、まちづくり協議会や地域の活動に参加したことがあると回答した割合は約6割。しかし、今後まちづくり協議会の事業に参加したくないと回答した割合は6割あった。 エ 町内(集落)支援助成金については、回答のうち約7割が町内で助成されていることを知っていた。そして、約6割が今のまま継続してほしいという意見であった。だが、約1割は現在の支援助成金の項目を整理してほしいもしくは各町内への支援を縮小し、地域の活性化につながるさまざまな取組みについて支援できる制度にしたほうが良いと考える。

20代へのアンケートで瀬波地域で住むうえで不満に思うこと	ア 回答の多い順で、交通の便の悪さ、通学・通学地が遠い、買い物不便、同世代との交流が少ない、教育環境、働きたいと思う職場が少ないであった。 イ このことから「やりがいがあり、一定の収入が得られる職場」や「バスや電車などの公共交通機関が便利であること」などが求められている。
瀬波まちづくり推進協議会への今後について	ア 企画するイベントについては、いろいろな意見があるが、期待されている部分は多い。 イ 高齢者の増加によるまち協での対策を望む声もある。このことから継続していく必要があると思う。

#### 成果

- \*まち協設立からある町内(集落)支援助成金制度は、各町内・集落事業内容の充実化のために寄与している。具体的には
- ・各町内で地域交流行事を行うことで、町内の結束を高めることに寄与している。特に新興住宅地では住民同士の顔合わせの場として重要な役割を果たしている。
- ・町内の住民が、道路などの草刈りやごみ拾いを行うことで、自分たちの住む町内をきれいにするという機運を盛り上げていることに一役買っている。
- ・左義長、地藏様など先代から受け継がれている伝統文化・行事について、住民の意識として共有することで次世代へつなげていく取組みにつながっている。
- ・各町内の地域の茶の間活動を助成することで、町内(集落)のコミュニティ形成に一役買っている。

- \*4つの専門部会を立ち上げた結果、それぞれの分野において事業の幅が広がった。具体的には
- ・歳時記を発行し、瀬波地区住民に配布及び瀬波小学校、国・県・市の図書館に寄贈すると共に、一般にも頒布し、瀬波の歴史を訪ねる資料、郷土学習の参考資料として広く活用されている。
- ・瀬波地域の小さい子供からお年寄りまで交えた地域交流行事を開催し、町内の絆を超えた交流を深めることができた。
- ・「昔の遊び」や「笑える講演会」など今までにない行事を部会独自で計画・実行している。
- \*従来行われてきた瀬波地区文化祭について、ステージの飾りつけや露店を増やしたりするなど、まちづくり協議会の新たなカラーを打ち出すために部会の枠を超えて工夫している。

#### 課題

- ・市民協働のまちづくりに関することや協議会活動がまだ十分に住民に周知されていない(住民に関心がない)。
- ・町内(集落)支援助成金制度が形骸化しているところもある。
- ・若者や女性の参加が少ない。後継者不足。
- ・年々高齢者が増加しており、高齢者対策が必要になってきている。

### 6. 第3次計画がめざすもの

協議会では、PDCAサイクル(計画-実行-評価-改善)により、これまでの成果と課題を検証しました。また、アンケート調査で住民のみなさんからいただいた貴重なご意見を第3次計画に反映させることで、これまで以上に、地域の目指すべき目標や解決すべき課題を住民のみなさんと共有しながら市民協働のまちづくりに取り組んでいくとします。

第3次瀬波地域まちづくり計画の目標年次

2025(令和7)年度

キャッチフレーズ

活気あふれるまち 瀬波

スローガン

世代を超えて、仲が良く、魅力と活気あふれるまちをつくらう

### 7. 基本方針

計画の骨格となる基本方針等については、第1次及び第2次瀬波地域まちづくり計画に掲げたものを踏襲します。  
行動目標等についてはターゲットを絞ることで住民参加の方法を明確化し、参画しやすい協議会につなげます。

#### 基本方針

- 人と人とのふれあいのあるまちづくり
- 支え合い安全で安心して暮らせるまちづくり
- 自然と景観が調和したまちづくり
- 歴史と伝統文化を大切にしまちづくり

基本方針を骨格として各部会が中心となり協議会活動を進めます

### 8. 取組みの方向性

#### 健康、福祉、環境分野(けんこう福祉部会)

人と人とのふれあいのあるまちづくり  
支え合い安全で安心して暮らせるまちづくり  
自然と景観が調和したまちづくり

少子高齢化が進んでいることで、高齢者世帯や核家族世帯の割合が増え、病気や子育てに不安を抱える人が増加しています。高齢者が住み慣れた地域で安心して、穏やかに暮らすことができ、また、地域全体で子育てを支えることのできるような取組みを進めます。  
また、瀬波地区は海あり、山あり、川ありと豊かな自然に恵まれたところです。この豊かな自然環境を次の世代に引き継ぐための取組みを進めます。

分野	取組みの方向性や実施する事業
健康増進	・健康への意識を高めるために「瀬波地区健康講演会」の支援 ・ヨガや体操教室など住民参加型の健康増進事業 ・食の安全をテーマに健全な食生活の推進を図る事業
高齢者若者・子育て	・地域の茶の間との連携により、町内(集落)コミュニティ形成を支援 ・「ひまわりクラブ」の開設など未就学児の集いの場を提供
自然環境・ゴミ問題	・瀬波地区が自然豊かなところであることを、肌で触れて実感したり学んだりする事業 ・海岸清掃やゴミ拾い運動など自然環境を守る事業 ・各町内(集落)環境美化運動の支援 ・豊かな自然環境を後世に残すための事業



<p>安心・安全 分野(あんしん安全部会)</p> <p>支え合い安全で安心して暮らせるまちづくり</p>	<p>住民交流 分野(ふれあい交流部会)</p> <p>人と人のふれあいのあるまちづくり</p> <p>瀬波地区では各町内(奥瀬)で、納涼祭などの交流事業が行われています。このような事業を通じて住民同士の繋がりが生まれることから、瀬波地区全体で行えるような取組みを進めます。</p>	<p>歴史、伝統文化 分野(ふるさと歴史部会)</p> <p>歴史と伝統文化を大切にしたいまちづくり</p>														
<p>S-CAT(瀬波こどもふれあい隊)が発足し、ボランティア隊員の皆さんが日々活動しています。これは、瀬波地域が「地域の子どもは地域で育てる」という機運が高い証であります。これからも、安心安全のまちづくりをめざしてこの取組みを継続します。</p> <p>また、股ボールベッドなど避難所で使用するようなものを実際に使用・体験したり、ビニール袋を使用したクッキング講習会を行うなど、地域住民の防災意識を高める取組みを進めます。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th>取組みの方向性や実施する事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住民交流</td> <td>・各町内(奥瀬)での住民交流事業等による地域コミュニティを守る事業を支援 ・子供から高齢者まで幅広く交流できる取組み</td> </tr> <tr> <td>イベント 地域活性化</td> <td>・地区住民のニーズを把握した事業、イベントの企画運営 ・豊富な地域資源を活かした地産地消への取組み</td> </tr> </tbody> </table>	分野	取組みの方向性や実施する事業	住民交流	・各町内(奥瀬)での住民交流事業等による地域コミュニティを守る事業を支援 ・子供から高齢者まで幅広く交流できる取組み	イベント 地域活性化	・地区住民のニーズを把握した事業、イベントの企画運営 ・豊富な地域資源を活かした地産地消への取組み	<p>瀬波地区は歴史が古く、また貴重な歴史的遺産も残されています。これは、先代から受け継いだ大切な宝であることから、歴史を感じ後世に残す取組みを進めます。また、松原町や緑町等の新興住宅地で積み重ねた新しい伝統文化も大切に、新旧町内の伝統文化を後世につなげます。</p> <p>また、左義長、地藏様等の伝統文化が受け継がれていることから、その意味を理解し、後世につなげる取組みを進めます。</p>								
分野	取組みの方向性や実施する事業															
住民交流	・各町内(奥瀬)での住民交流事業等による地域コミュニティを守る事業を支援 ・子供から高齢者まで幅広く交流できる取組み															
イベント 地域活性化	・地区住民のニーズを把握した事業、イベントの企画運営 ・豊富な地域資源を活かした地産地消への取組み															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th>取組みの方向性や実施する事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子ども、高齢者 見守り活動 交通安全</td> <td>・地域での見守り活動が安心した暮らしを支えることにつながるため、S-CAT(瀬波こどもふれあい隊)の機能強化や通学路の危険箇所点検 ・S-CAT隊員とまちづくり協議会合同で交通安全などの講習会及び情報交換会を行うことでスキルアップを目指す。</td> </tr> <tr> <td>防災</td> <td>・股ボールベッドなど避難所で使用するものを展示・体験してもらうなどして住民の防災意識を高める。</td> </tr> <tr> <td>防犯</td> <td>・犯罪の発生が危険される空き家が増加していることなどから、地域住民が防犯意識を高め、犯罪のないまちづくりをめざす</td> </tr> </tbody> </table>	分野	取組みの方向性や実施する事業	子ども、高齢者 見守り活動 交通安全	・地域での見守り活動が安心した暮らしを支えることにつながるため、S-CAT(瀬波こどもふれあい隊)の機能強化や通学路の危険箇所点検 ・S-CAT隊員とまちづくり協議会合同で交通安全などの講習会及び情報交換会を行うことでスキルアップを目指す。	防災	・股ボールベッドなど避難所で使用するものを展示・体験してもらうなどして住民の防災意識を高める。	防犯	・犯罪の発生が危険される空き家が増加していることなどから、地域住民が防犯意識を高め、犯罪のないまちづくりをめざす	<p>プロジェクト事業</p> <p>1つの部会では完結できない事業についてはプロジェクト事業とし、横の連携を強化して全体的な事業展開を進めます。</p> <p>アンケート調査やアイデア集約等により、地域活性化のための対策を提案します。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th>取組みの方向性や実施する事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域再発見</td> <td>・史跡を紹介する案内看板の作成を行うなど、瀬波の歴史が学べて未来に引き継ぐ事業の実施 ・日本海側唯一の米軍上陸地の「いかり」の活用</td> </tr> <tr> <td>伝統文化</td> <td>・左義長、地藏様など先代から受け継がれている伝統文化・行事を大切にし、住民の意識として共有することで、次世代へつなげていく取組み</td> </tr> </tbody> </table>	分野	取組みの方向性や実施する事業	地域再発見	・史跡を紹介する案内看板の作成を行うなど、瀬波の歴史が学べて未来に引き継ぐ事業の実施 ・日本海側唯一の米軍上陸地の「いかり」の活用	伝統文化	・左義長、地藏様など先代から受け継がれている伝統文化・行事を大切にし、住民の意識として共有することで、次世代へつなげていく取組み
分野	取組みの方向性や実施する事業															
子ども、高齢者 見守り活動 交通安全	・地域での見守り活動が安心した暮らしを支えることにつながるため、S-CAT(瀬波こどもふれあい隊)の機能強化や通学路の危険箇所点検 ・S-CAT隊員とまちづくり協議会合同で交通安全などの講習会及び情報交換会を行うことでスキルアップを目指す。															
防災	・股ボールベッドなど避難所で使用するものを展示・体験してもらうなどして住民の防災意識を高める。															
防犯	・犯罪の発生が危険される空き家が増加していることなどから、地域住民が防犯意識を高め、犯罪のないまちづくりをめざす															
分野	取組みの方向性や実施する事業															
地域再発見	・史跡を紹介する案内看板の作成を行うなど、瀬波の歴史が学べて未来に引き継ぐ事業の実施 ・日本海側唯一の米軍上陸地の「いかり」の活用															
伝統文化	・左義長、地藏様など先代から受け継がれている伝統文化・行事を大切にし、住民の意識として共有することで、次世代へつなげていく取組み															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th>取組みの方向性や実施する事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広報事業</td> <td>・ホームページ、フェイスブックなど、SNSを活用した情報発信 ・事業広報の作成 ・瀬波地域まちづくり通信特設ページの編集</td> </tr> <tr> <td>瀬波地区文化振興実行委員会</td> <td>・ふれあいフェスタ(おせみ)(瀬波地区を主)の実施する内容の毎年の検討・実施</td> </tr> <tr> <td>大型イベントの開催</td> <td>・婚活パーティーなどの実施の際、各町から人員を出してもらい事業を盛り上げていく。</td> </tr> </tbody> </table>	分野	取組みの方向性や実施する事業	広報事業	・ホームページ、フェイスブックなど、SNSを活用した情報発信 ・事業広報の作成 ・瀬波地域まちづくり通信特設ページの編集	瀬波地区文化振興実行委員会	・ふれあいフェスタ(おせみ)(瀬波地区を主)の実施する内容の毎年の検討・実施	大型イベントの開催	・婚活パーティーなどの実施の際、各町から人員を出してもらい事業を盛り上げていく。								
分野	取組みの方向性や実施する事業															
広報事業	・ホームページ、フェイスブックなど、SNSを活用した情報発信 ・事業広報の作成 ・瀬波地域まちづくり通信特設ページの編集															
瀬波地区文化振興実行委員会	・ふれあいフェスタ(おせみ)(瀬波地区を主)の実施する内容の毎年の検討・実施															
大型イベントの開催	・婚活パーティーなどの実施の際、各町から人員を出してもらい事業を盛り上げていく。															

# 大滝保健師の + 保健師通信 +

みなさん、こんにちは。新型コロナウイルスでまだまだ油断のできない日々が続いていますが、体調はいかがですか？



## ～健診に関する大切なお知らせ～

市の特定健診、セット健診をお申込みいただいた皆様、ありがとうございました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集団での特定健診が中止になりました。申込みをした方には案内が届いたかと思しますので、よくご確認ください。

### 特定健診について

特定健診とは、血液検査や身体計測、血圧測定、尿検査などを行う健診です。

今年度は、個別健診のみの実施となります。受けられる医療機関は案内に記載していますので、ご確認の上、電話をしてから受診をお願いします。かかりつけ医がある方は、定期受診のうちの1回を市の健診として受けることができますので、主治医の先生にご相談ください。

申込みを忘れていた方もまだ間に合います！「市の健診は受けていないけど、病院への定期受診はしている」という方もぜひ、そのうち1回を市の健診として受けてみませんか？

皆様にご迷惑をおかけしてしまい、大変申し訳ありません。ご協力をよろしくお願いいたします。ご不明な点がありましたら、お気軽に下記までお問い合わせください。

制限のある生活が長く続いています。身体や心のストレスも溜まり、疲れている方もいるかと思ます。身体の健康、心の健康について不安なことがある方は、いつでもご相談ください。

村上市役所保健医療課健康支援室 瀬波担当保健師 大滝菜摘 ☎0254-53-2111(内線 2442)

## 各町内(集落) 支援助成金説明会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とします

\* 瀬波地区の区長の皆様や各種団体には、要項と申請用紙をお送りしました。不明な点がありましたら、下記協議会事務局までお問い合わせ願います。

協議会事務局: 村上市瀬波上町4番1号(瀬波地域コミュニティセンター(いこ〜て瀬波)内)  
 担当: 高橋(村上市自治振興課自治振興室瀬波地域担当)  
 【TEL】53-2005 【FAX】53-5557(瀬波地域コミュニティセンター兼用)  
 【URL】<http://www.senami-machikyo.net> 【メール】[info@senami-machikyo.net](mailto:info@senami-machikyo.net)